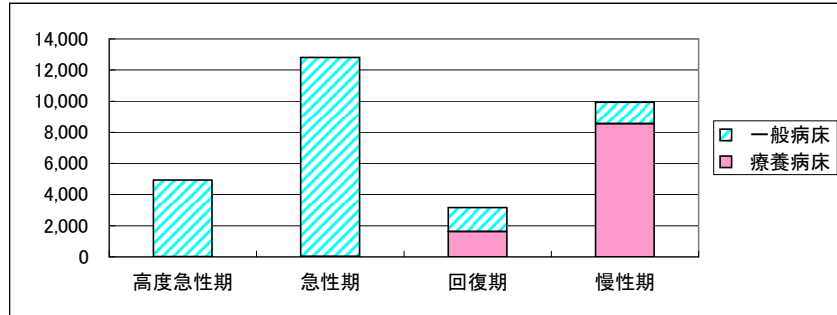


病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡県）】

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

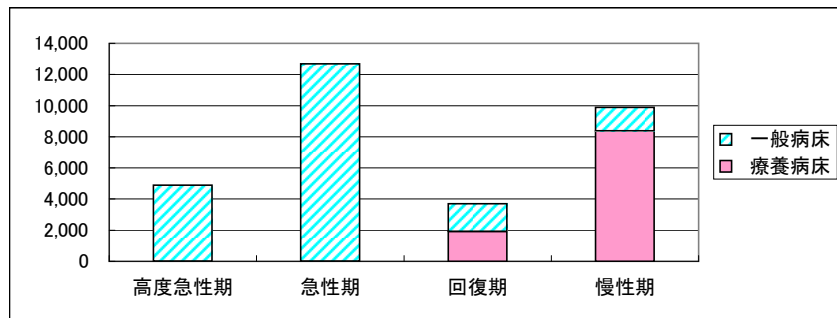


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	4,936	12,804	1,552	1,380	20,672
療養病床	0	11	1,622	8,559	10,192
合計	4,936	12,815	3,174	9,939	30,864
構成比	16.0%	41.5%	10.3%	32.2%	100.0%

(注)集計対象30,985床のうち、休棟等により医療機能について未選択の病床が121床分あり、上表には含めていない。

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	4,888	12,681	1,782	1,516	20,867
療養病床	0	5	1,916	8,370	10,291
合計	4,888	12,686	3,698	9,886	31,158
構成比	15.7%	40.7%	11.9%	31.7%	100.0%

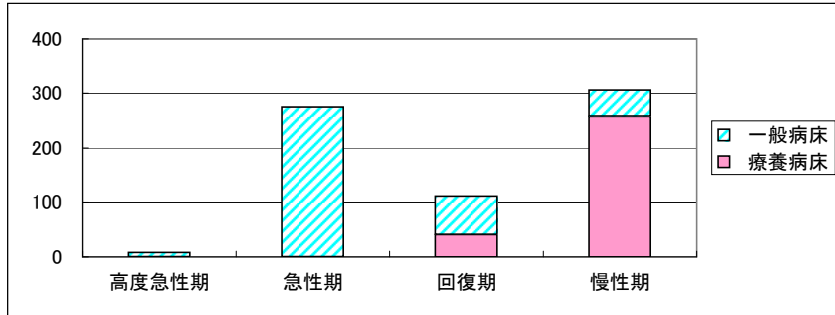
(注)集計対象31,283床のうち、休棟等により医療機能について未選択の病床が125床分あり、上表には含めていない。

〈2015年と2016年の比較〉

・高度急性期、急性期、慢性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加した。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（賀茂医療圏）】

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

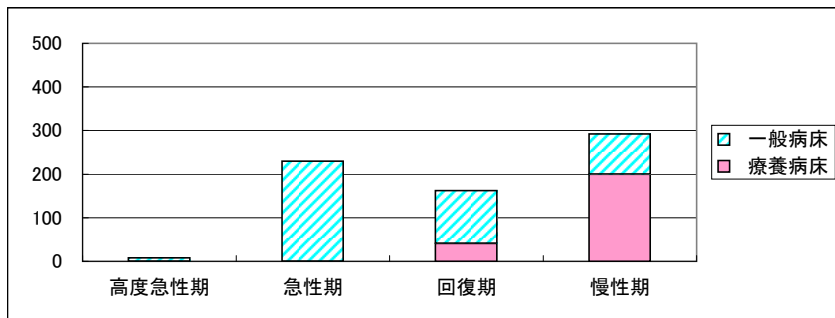


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	8	275	70	48	401
療養病床	0	0	41	258	299
合計	8	275	111	306	700
構成比	1.1%	39.3%	15.9%	43.7%	100.0%

(注)集計対象700床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	8	230	121	92	451
療養病床	0	0	41	200	241
合計	8	230	162	292	692
構成比	1.2%	33.2%	23.4%	42.2%	100.0%

(注)集計対象692床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

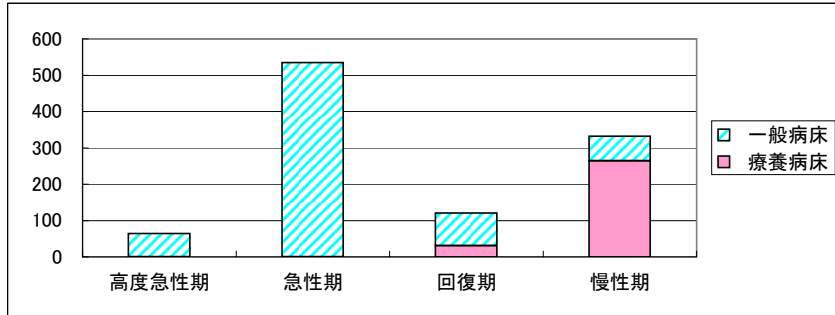
〈2015年と2016年の比較〉

・急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加した。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（熱海伊東医療圏）】

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

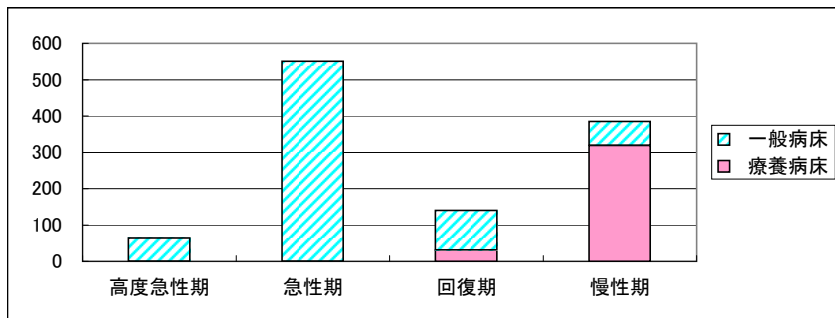


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	64	535	90	68	757
療養病床	0	0	31	264	295
合計	64	535	121	332	1,052
構成比	6.1%	50.9%	11.5%	31.6%	100.0%

(注)集計対象1,052床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	64	551	109	66	790
療養病床	0	0	31	319	350
合計	64	551	140	385	1,140
構成比	5.6%	48.3%	12.3%	33.8%	100.0%

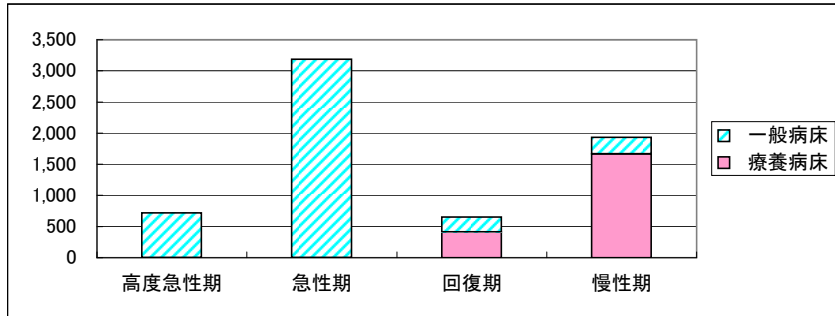
(注)集計対象1,142床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

〈2015年と2016年の比較〉

・高度急性期、急性期の構成比が減少し、回復期、慢性期の構成比が増加した。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（駿東田方医療圏）】

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

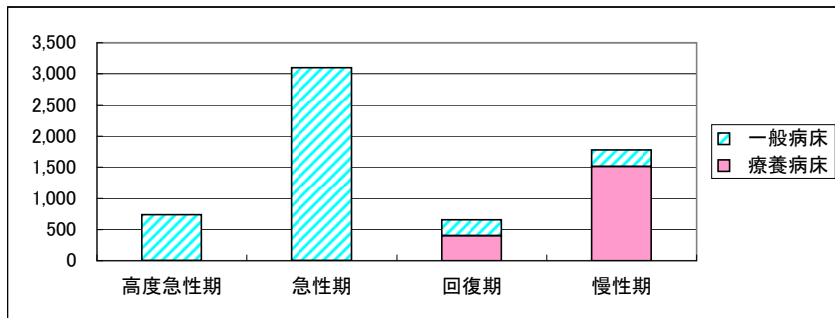


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	721	3,189	238	269	4,417
療養病床	0	0	413	1,664	2,077
合計	721	3,189	651	1,933	6,494
構成比	11.1%	49.1%	10.0%	29.8%	100.0%

(注)集計対象6,508床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が14床分あり、上表には含めていない。

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	739	3,097	255	266	4,357
療養病床	0	0	401	1,511	1,912
合計	739	3,097	656	1,777	6,269
構成比	11.8%	49.4%	10.5%	28.3%	100.0%

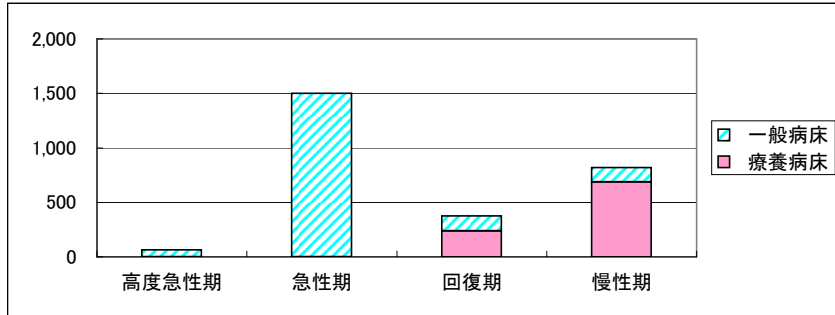
(注)集計対象6,308床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が39床分あり、上表には含めていない。

〈2015年と2016年の比較〉

・慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加した。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（富士医療圏）】

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

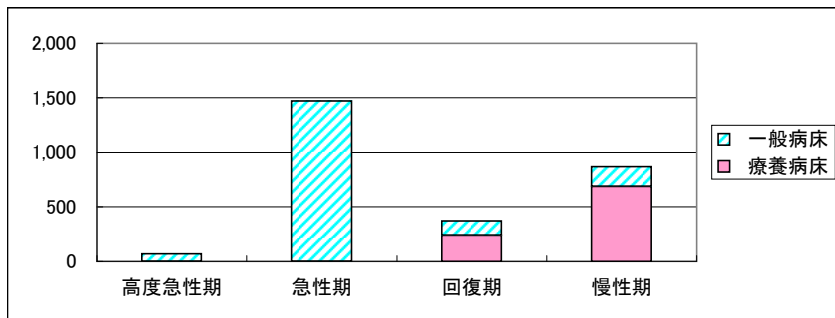


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	66	1,502	138	130	1,836
療養病床	0	0	237	688	925
合計	66	1,502	375	818	2,761
構成比	2.4%	54.4%	13.6%	29.6%	100.0%

(注)集計対象2,761床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	70	1,470	132	182	1,854
療養病床	0	0	237	688	925
合計	70	1,470	369	870	2,779
構成比	2.5%	52.9%	13.3%	31.3%	100.0%

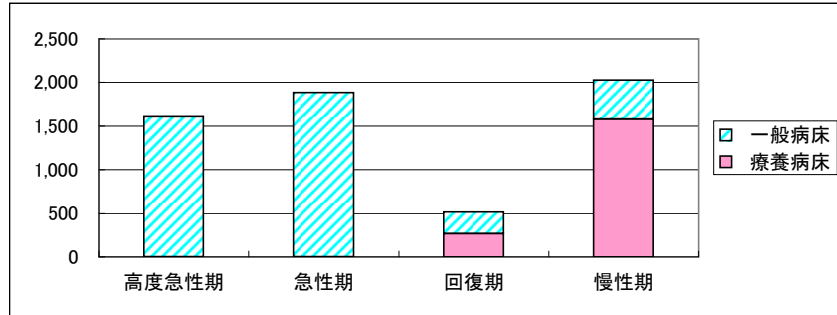
(注)集計対象2,779床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

〈2015年と2016年の比較〉

・急性期、回復期の構成比が減少し、高度急性期、慢性期の構成比が増加した。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡医療圏）】

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

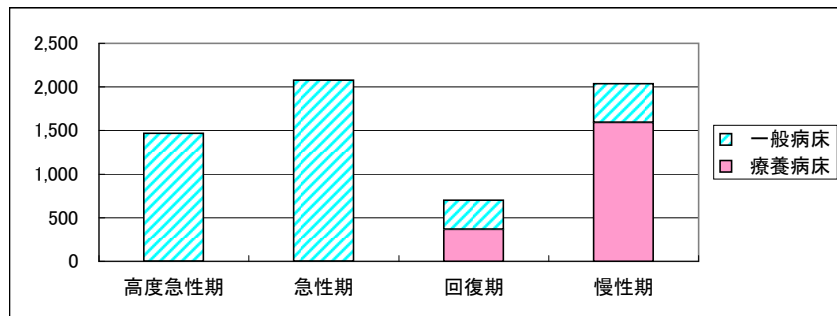


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,610	1,885	252	444	4,191
療養病床	0	0	267	1,583	1,850
合計	1,610	1,885	519	2,027	6,041
構成比	26.7%	31.2%	8.6%	33.6%	100.0%

(注)集計対象6,099床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が58床分あり、上表には含めていない。

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,468	2,078	333	447	4,326
療養病床	0	0	367	1,592	1,959
合計	1,468	2,078	700	2,039	6,285
構成比	23.4%	33.1%	11.1%	32.4%	100.0%

(注)集計対象6,294床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が9床分あり、上表には含めていない。

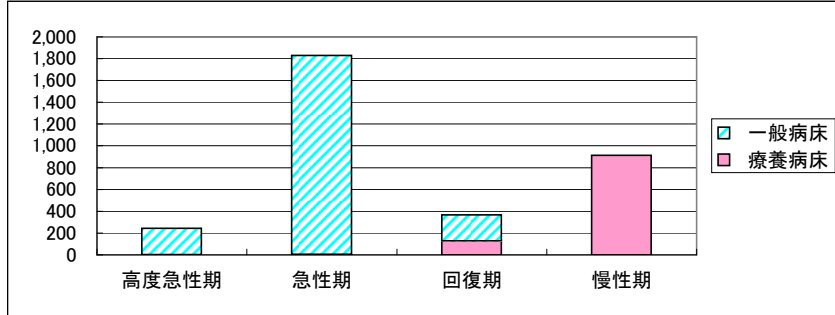
〈2015年と2016年の比較〉

・高度急性期、慢性期の構成比が減少し、急性期、回復期の構成比が増加した。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（志太榛原医療圏）】

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

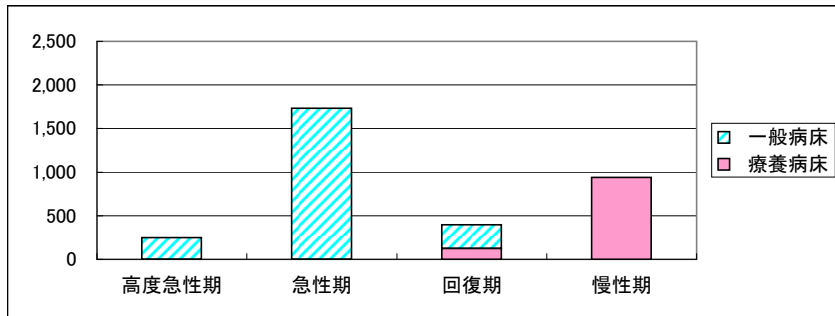


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	243	1,826	241	0	2,310
療養病床	0	3	125	913	1,041
合計	243	1,829	366	913	3,351
構成比	7.3%	54.6%	10.9%	27.2%	100.0%

(注)集計対象3,351床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	251	1,733	271	0	2,255
療養病床	0	0	125	938	1,063
合計	251	1,733	396	938	3,318
構成比	7.6%	52.2%	11.9%	28.3%	100.0%

(注)集計対象3,341床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が23床分あり、上表には含めていない。

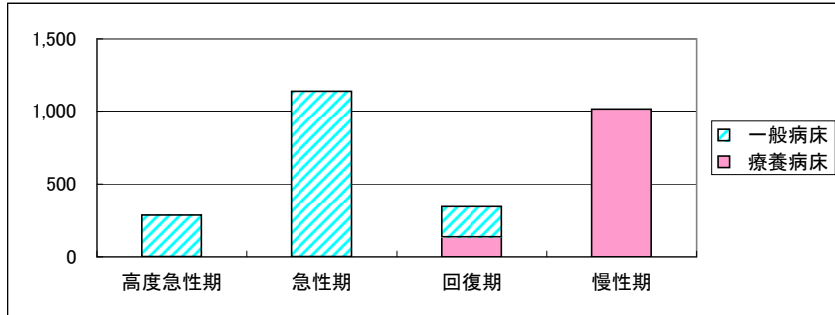
〈2015年と2016年の比較〉

・急性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期、慢性期の構成比が増加した。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（中東遠医療圏）】

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

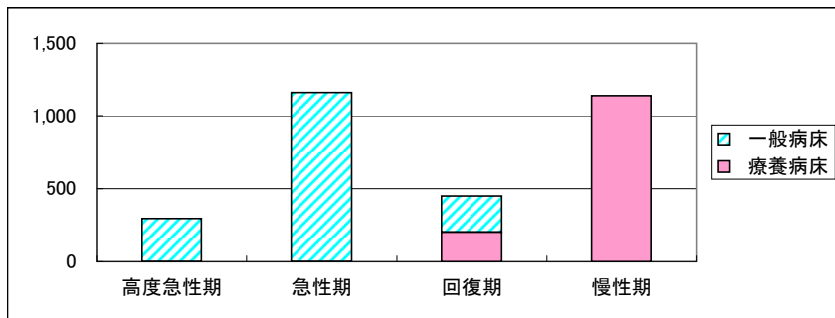


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	288	1,138	213	0	1,639
療養病床	0	0	136	1,016	1,152
合計	288	1,138	349	1,016	2,791
構成比	10.3%	40.8%	12.5%	36.4%	100.0%

(注)集計対象2,791床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	294	1,161	251	0	1,706
療養病床	0	0	199	1,138	1,337
合計	294	1,161	450	1,138	3,043
構成比	9.7%	38.2%	14.8%	37.4%	100.0%

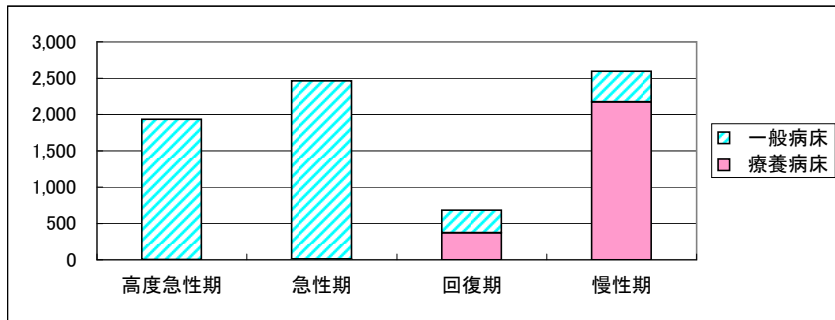
(注)集計対象3,043床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

〈2015年と2016年の比較〉

・高度急性期、急性期の構成比が減少し、回復期、慢性期の構成比が増加した。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（西部医療圏）】

《2015(平成27)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

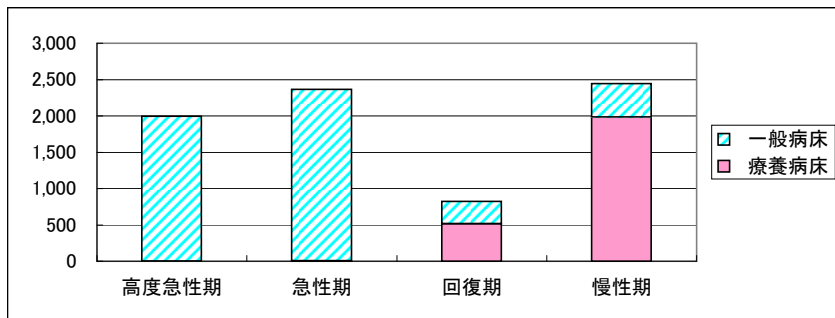


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,936	2,454	310	421	5,121
療養病床	0	8	372	2,173	2,553
合計	1,936	2,462	682	2,594	7,674
構成比	25.2%	32.1%	8.9%	33.8%	100.0%

(注)集計対象7,723床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が49床分あり、上表には含めていない。

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,994	2,361	310	463	5,128
療養病床	0	5	515	1,984	2,504
合計	1,994	2,366	825	2,447	7,632
構成比	26.1%	31.0%	10.8%	32.1%	100.0%

(注)集計対象7,686床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が14床分あり、上表には含めていない。

〈2015年と2016年の比較〉

・急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加した。